

体感。感動。感謝。NBUのCOC事業をお伝えします。

文部科学省
地(知)の拠点



日本文理大学COC事業

おおいた、つくりびと

coc-nbu.jp

December 2015 Nippon Bunri University, COC MAGAZINE

サンタ!サンタ!サンタ! 2015密着レポート

大分の冬の風物詩となったクリスマスイベント、
200人のサンタが街中を今年も熱く盛り上げる!



No. 05



▲本番に向けて何度も打ち合わせを繰り返すメンバーたち。時間を忘れて熱い議論が交わされる。

メンバー全員で話し合い、 今年のテーマが決定!

2010年から始まった「サンタ!サンタ!サンタ!」は、今年で6回目を迎える。サンタに扮したNBU生が大分市中心部をパレードし、ユニークなステージイベントで街を盛り上げる姿は、今や大分市の冬の風物詩となりつつある。しかし、先輩たちからNBUの看板イベントを受け継ぐ実行委員会を中心としたメンバーは、大きなプレッシャーと戦わなくてはならない。これまでよりも面白いイベント、しかも楽しいだけでなく、地域貢献のひとつになるようなテーマの設定。クリスマスの足音すら聞こえない秋から、度重なるミーティングが開かれた。メンバー間で決めたルールはひとつ。どんなアイデアでもいいから、全員がやりたいことを言葉にしよう。「パレードだけでなく商店街をディスプレイできないか」、「小さな子どもが楽しめるゲームがいい」。次々と出てくる意見をまとめたり、アレンジしながらカタチにしていくなかで、ある学生が呟いた。「先輩たちが始めたころは郊外の商業施設などに押されて、街中に元気がなかったけど、今は新しくなった大分駅を中心にずいぶん活気があるよね。でも…」確かに駅周辺は賑わいをみせている。しかし、そこに集う人たちが商店街へと足を伸ばしているだろうか。市内中心部に人の流れができていないのでは?議論を重ねた結果、

2015年の「サンタ!サンタ!サンタ!」のテーマが決まった。それは「つながる」。人と人、街中のエリアを自分たちがつないでいこう。メンバー全員の心がひとつになった。

イベント成功を目指して、 それぞれの役割を明確化。

パレードやステージイベントは数時間だが、それまでに準備をしなくてはならないこと、計画を立てなくてはならないことは山ほどある。今回、メンバーは3つの班に分かれて行動することを決定。安全を確保しながら、スムーズなパレードを実現させる警備班、ステージイベントを企画・運営するステージ班、そしてイベントのPRを担当する広報班。毎年、パレードに協力してくれる「よいこのくに保育園」の先生や保護者の皆さんとのルートやイベント内容の打ち合わせ、パレードを行うル



▲時間や舞台演出の流れなどを考えながら、ステージ企画を詰めていく。

NBUサンタが 今年もやってきた!

「つながる」をテーマに、大分市中心部に元気を届ける。

NBUチャレンジプログラムの一環である「サンタ!サンタ!サンタ!2015」(おおいた光のファンタジー2015~星降るアベニュー~連携事業)が、12月12日に行われた。「大分市中心街を盛り上げる」ことを目的とした学生サンタによる大パレードは今年で6回目を迎える。大分駅が新たに生まれ変わり、街中が大きく変わった年に、彼らが届けようとしたメッセージとは…。



▲広報班は、これまでのチラシを手に、Facebookを通じてイベントPR。

トの事前確認など、それぞれが自分たちの役割をこなしていく。広報班が、今年新たにチャレンジしたのは、SNSを活用したイベントの告知。NBU人間育成センターのFacebookを通じて、チラシの完成や当日のスケジュールなどを、メンバーの準備活動の様子とともにアップすることで、より細やかな情報を発信。【いよいよ「サンタ!サンタ!サンタ!」の開催が明日となりました。全体リハーサルを行い、いよいよ本番を迎えます。メンバー全員で盛り上げていきます!】イベント前日、力強いメッセージを投稿した彼ら。いよいよ本番の時を迎える…。



◀手書き風のイラストをはじめ、告知チラシもすべて学生たちが手作り。

いよいよ本番スタート 200人のサンタが街へ!

パレード開始、1時間前。スタート地点のNBU大分美容専門学校は、慌ただしい雰囲気に包まれていた。サンタの衣装を身にまとったNBU生が、一緒にパレードしてくれる保育園の子どもたちの着替えを手伝っている。警備班は、ひとつの輪をつくり、最後にもう一度、注意事項を確認している。その頃、広報班は大分駅前の特設ステージで、パレードのPR活動を行っていた。告知の途中にも関わらず、ステージからトナカイの格好をしたメンバーが突然、逃げ出した!実はこれは、今回のイベントを盛り上げる演出のひとつ。街中にいるトナカイを見つけ出すと、プレゼントが貰えるのだ。ゲームへの参加をきっかけに街中を回遊してもらおうという学生のアイデアが、わずかな時間の告知タイムにも活かされていた。

14時30分、ついにパレードがスタート!NBU



▲学生食堂にて、当日イベントに協力してくれるボランティア学生を募集。



▲「サンタ!サンタ!サンタ!2015」の大成功を記念して、みんなでポーズ!

生、保育園の子どもたちが手をつなぎ歩き始める。小さな手を優しく握り、子どもたちの歩幅に合わせて進む。最初は恥ずかしそうに下を向いているメンバーもいたが、「全員で楽しもう」と実行委員が声をかけると、次第に笑顔が咲き始める。特別参加してくれたのは、系列校の日本文理大学附属高等学校の吹奏楽部。楽しいクリスマスソングが商店街に鳴り響く。パレードの到着が少し遅れたため、ステージ企画の時間を臨機応変に調整しながら進めるステージ班。広報班の事前活動が功を奏し、ステージには多くの人が集まってきた。警備班は、通行人に迷惑がかけないように道を空ける。それぞれが協力し合いながら、やるべきことに全力で取り組む。すべてのプログラムをやり遂げた彼らに贈られたもの。それは街に買い物に来たお客さんや商店街の方々からの温かい

拍手と声援。

メンバーの中心となり準備してきた学生の一人が充実した表情でこう言った。「つながるというテーマの本当の意味が分かった気がします」。

先輩たちが想いを込めてリレーしてきた街おこしイベント「サンタ!サンタ!サンタ!」。その大切なバトンは、さらに輝きを増して、次のクリスマスへとつながってゆく。



▲保育園の子どもたちと心をひとつにしてステージを盛り上げる。

NEWS

約200人のサンタが、 街に笑顔のプレゼント!

サンタやトナカイの仮装で商店街をパレードする様子が、大分合同新聞に掲載。「すごい!」、「サンタの衣装がかわいいです!」など通行人の皆さんの声とともに紹介された。

※掲載記事は許諾を受けています。

2015.12.14 大分合同新聞(夕刊)



学生たちの活躍は、NBUのCOC特設サイトをチェック! [nbu coc](#) [検索](#)

キラリびと

『おおいた、つくりびと』で活躍する学生、
教職員、地域の皆さんにインタビュー。

05



サンタ!サンタ!サンタ!2015メンバー
工学部 航空宇宙工学科3年

三浦 公徳

Q. 「サンタ!サンタ!サンタ!2015」で
目標に掲げたものは?

A. 「サンタ!サンタ!サンタ!」には、1年生
の時にも参加しましたが、正直、右も左も
分からないまま終わってしまったという感じ
でした。3年生になったということで、今回
はステージ班のまとめ役を担うことになった
ので、最後まで責任感をもってやり遂げよ
うと思いました。イベント企画に関しては、ま
ず全員の意見をしっかりと拾い上げなが
ら、こういう形にしたらできるんじゃないと
か、組み合わせることで、もっと面白くなる
のでは?という、アイデアのまとめ役にな
ろうと努力しました。

Q. イベントに参加して、
どんなことを学びましたか?

A. ステージイベントは、予定時間より遅
れてスタートしましたが、クイズの問題を少

なくしたり、セットを手際良く組むことによ
り、スムーズに進行できました。どんなに準
備をしても、思いがけないアクシデント
は起こります。そんなときに、自分だけでな
く、仲間と一緒に、落ち着いてコミュニケー
ションを図りながら、解決方法を見つけるこ
とが大切だと実感しました。ひとつのチーム
になることで、メンバー同士でいつの間
にか、企画力や問題発見力がついてきたと
思います。

and more...



PICK UP! COCプロジェクト

2015.11.05

森林ボランティアで学んだことはどっちも大事ってこと

四季の森プロジェクトの男子学生12名
が、「森林ボランティア研修」に参加。

これまで、植樹祭や竹の伐採など、山で
の活動に参加していた1年生。しかし、今回
新たに木の種類、危険な野生生物、安全
管理などの様々な知識を学んだことで、自
信が覆された。何をやるにも、知識が十分で
なければ、中途半端なことしかできないと分
かってはいたのだけど…。ふと、先輩たちが
話し合っていたシーンが浮かんできた。きつ
と、色々準備してくれていたんだろうな。俺た
ちだって、決していい加減な気持ちで手
伝っていたわけではなかったし、見様見真

似でやってきたけれど、「なんでそうする必要
があるのか?」と考えてこなかったことが恥
ずかしい。“学問は、疑問に思ふことから始ま
る”という言葉聞いたことがあるけれど、今
日はその言葉の意味を噛み砕き、飲み込め
たことで、なんだか心が躍る。小さな出来事
も自分の意思で学びにつなげられる、「大
学での体験」ってそんなことをさらっと気づ
かせてくれるってことだろうか…。

まだまだあります!
大分県内をステージに進行中の
プロジェクトが盛りだくさん。

- カボス農場で感じる“特産品”の魅力
- 丹誠込めて育てた甘太くんへの愛情
- 採穂作業を通して働くことを考える etc...



四季の森プロジェクト1・2年生が
「森林ボランティア研修」に参加

くわしくはNBUのCOC特設サイト **coc-nbu.jp** へ